

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：教職教養演習Ⅰ 英語表記：Teaching Professionals Educational AdministrationⅠ ナンバリング：2601		単位数：1単位 (半期)演習	担当教員名：山畑昭司 担当形態：単独
科目/系列		/	
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目		/	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b> 1. 公務員試験の流れや、勉強の方法、各自が受ける地域の試験内容について理解できる。 2. 公務員試験「一般教養」の各領域における内容と各自の力を確認し、苦手領域を克服できる。 3. 面接試験のポイントを把握し、模擬面接を通して回答力を身につけることができる。			
<b>【授業の概要】</b> 公立の保育所や幼稚園、認定こども園の保育士や幼稚園教諭に就職するには、各自治体を実施する職員採用試験に合格が不可欠である。試験内容は一般教養試験、専門教養試験、論作文、面接等である。本講義では、公立の保育士・幼稚園教諭を目指す学生を対象に、公務員試験受験の基礎知識・学習方法・一般教養の身につけ方、論文作成・面接の受け方を学ばせる。			
<b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>			関連性
<b>【知識・理解・技能】</b>			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
<b>【思考・判断・表現】</b>			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
<b>【関心・意欲・態度】</b>			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
<b>【授業計画】</b> 第1回：授業の目的、学習計画 第2回：公務員試験について 第3回：一般教養（文章理解・国語・文学） 第4回：一般教養（思想・日本史・世界史） 第5回：一般教養（法律〈日本国憲法、教育関係法規〉） 第6回：一般教養（政治・経済） 第7回：一般教養（判断推理） 第8回：一般教養（地理・芸術） 第9回：一般教養（数学） 第10回：一般教養（数的理解） 第11回：一般教養（数的数量） 第12回：一般教養（社会） 第13回：小論文対策 第14回：面接対策		<b>【授業時間外の学習】</b> ・受験希望の自治体の情報を随時PC等で調べる。 （1時間程度） ・高校時代の教科書、参考書を用いて、自学する。 （各分野1時間程度） ・テキスト中の授業予定分野の練習問題に目を通して授業に臨む。 （1時間程度）	

第15回：志望動機の手書き方、前期試験に向けて	
定期試験：筆記	
<b>【授業の方法】</b> 講義と主体的な「学び合い」を織り交ぜて行う。パソコンで自治体採用試験概要の調べ学習を行ったり、グループワークを行ったりもする。授業の振り返りを提出させフィードバックする。	
<b>【テキスト】</b> 『2026年度版 公立保育園&幼稚園をめざす保育士・幼稚園教諭 採用試験問題集 論作文・面接対策』保育士試験研究会編 実務教育出版	
<b>【参考書・参考資料等】</b> 『幼稚園教育要領解説』文部科学省、『保育所保育指針解説』厚生労働省 『市役所上・中級 教養・専門試験 過去問500 2026年度版』資格試験研究会 実務教育出版	
<b>【学生に対する評価】</b> 試験（70%）、提出物（15%）、授業参画度等（15%）。 ルーブリックを活用し、総合的に評価する。	
<b>【履修上の注意】</b> ・公務員試験希望者の学生を主な対象とする。 ・チューターズルーム・図書館を利用して積極的に予習・復習をする。 ・積極的に学ぶ意欲のある学生の受講が望ましい。 ・2年生前期に公務員試験のほとんどが実施されるため、学びを先取りする意欲が必要。	
実務経験の有無：有	実務経験：元公立学校教員採用試験委員
<b>【実務経験を生かした教育内容】</b> 元教員採用試験委員の経験を活かし、問題の解説・面接指導等を行い、公務員試験受験希望者の実力を養成する。	